

ランチョンセミナー 株式会社デンタリード

『パーシャルデンチャーにおける軸壁形成の重要性』

～ 株式会社デンタリード 黒島 靖一郎 ～

『リジッドサポートデンチャーの重要性と構成要素』

～ 株式会社デンタリード 前澤 翔也 ～

『パーシャルデンチャーにおける軸壁形成の重要性』 黒島 靖一郎

多数歯欠損補綴におけるパーシャルデンチャー（RPD）での対応時、口腔内で長期的に維持・安定し機能する RPD を製作するために、重要なファクターとなるのがサベイドクラウン等によるマウスプレパレーションでの軸壁形成であります。

近年、デジタルでのメタルフレームワークが注視されていますが、テクニシャン自身がアナログを用いた基本的な軸壁形成のロジックを理解しておく必要があると考えています。

今回は臨床例を通して RPD 製作時の軸壁形成の考え方、製作行程についてお話させていただきます。

『リジッドサポートデンチャーの重要性と構成要素』 前澤 翔也

義歯の分類として、リジッドサポートとフレキシブルのデンチャーがあるのは周知のことだと思うが、そのどちらが Longevity を目指したデンチャー制作にあたり適切であるのか？

それぞれの特徴や残存歯に与える影響などを考えた場合、リジッドサポートに軍配が上がると思う。なぜならデンチャーが機能時に動いてしまうと、咀嚼嚥下発音の妨げになってしまうと同時に残存歯に不適切な外力が加わってしまうからである。

今回、臨床例をご紹介しながらリジッドサポートデンチャーの重要性と構成要素、また制作過程も解説出来ればと思う。